

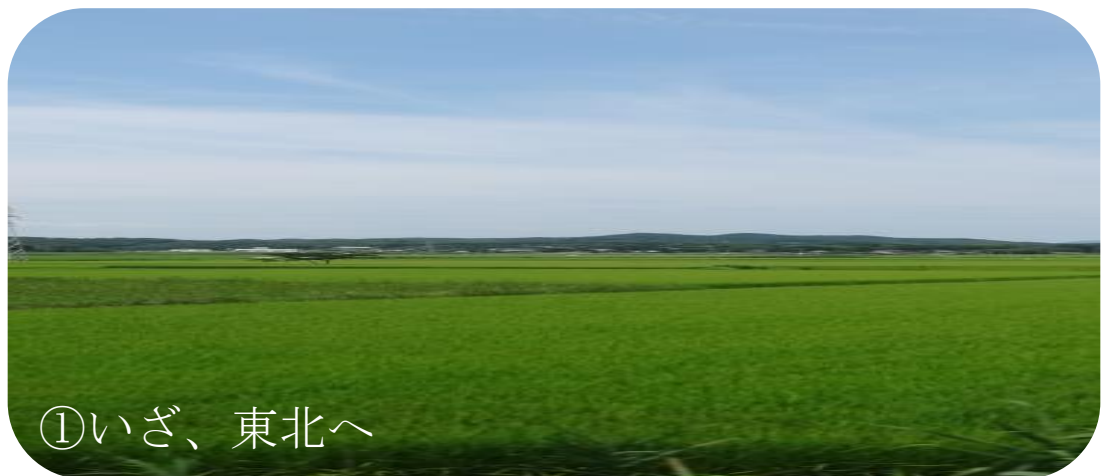


高2 齋藤 晃佑

## ①初めに

こんにちは。初めて停車場を執筆させていただく高校2年の齋藤晃佑です。私は鉄道ファンの中でも乗ることが好きな「乗り鉄」です。また、鉄道模型も好きです。今回は、鉄道好きな父親と1泊2日で仙台を中心とする南東北へ行ってきたので、それについて綴ります。文章も写真も下手ですが最後まで読んでいただくと幸いです。

8月14日(日)



## ①いざ、東北へ

午前7時10分。家を出発し最寄りの東門前駅へと向かう。

東門前7:18→783X 京急大師線 普通 京急川崎行き→京急川崎7:25

やって来たのは鋼鉄製の1500形1505編成。7分で京急川崎に到着。ここからJR川崎駅の間にあるコンビニで670mLのお茶を買い、JR川崎駅へ向かった。

川崎7:36→3622E 上野東京ライン 快速ラビット 宇都宮行き→宇都宮9:29

川崎から一気に宇都宮へ行く。川崎市民の私にとって上野東京ラインの開業で北へ行くことが非常に便利になった。車両はE 2 3 1系15両。一番前の15号車に乗車。品川、新橋、東京、上野、赤羽、浦和、大宮、蓮田と停まっていった。川崎から蓮田まで約1時間だった。そんなこんなで宇都宮に到着。到着後、この電車は湘南新宿ライン快速逗子行きとなった。



大師線1500形(京急川崎駅にて)



上野東京ラインE231系(川崎駅にて)

宇都宮 9 : 3 2 → 6 4 1 M 東北本線 普通 黒磯行き → 黒磯 1 0 : 2 2 (3分遅れ)

停車していたのは205系、4両編成メルヘン顔湘南色の電車だった。このとき、理由はよくわからないがさっきの電車の運転士に怒っている人がいた。対面乗り換えだったが、座れなかった。その後、発車した。15両から4両になったせいか車内は非常に混雑していた。矢板、那須塩原など各駅に停まったが、混雑の影響により3分遅れで黒磯に到着。そして黒磯ダッシュが来た。

この駅を境に東北本線の架線電気は直流から交流へと変化するため上り電車専用ホームと下り電車専用ホームとに分かれている。そのため宇都宮のような同じホームの対面乗り換えではなく階段を使った乗り換えとなる。しかも、階段が一つしかないため、人が集中し、大混雑となる。まさに大垣ダッシュと同じくらいハードである。



黒磯駅 下り電車ホーム



東北本線(宇都宮線)205系(宇都宮駅にて)

黒磯 1 0 : 2 7 (3分遅れ) → 2 1 3 3 M 東北本線 普通 郡山行き → 郡山 1 1 : 3 0

前記のとおり、階段を使って乗り換える。停車していたのは719系4両。また座れな

かった。さっきの遅れていた電車の乗り換え客(私のような人)を待っていたため、3分遅れで発車した。そして、白河の関付近を通過して関東地方の栃木県をぬけ、東北地方の福島県に入った。途中の白河では首都圏でよく聞くことができる発車メロディー(water crown)が鳴った。そして、仙台地区 I C カード利用エリアの最南端に位置する矢吹や水郡線との合流駅である安積永盛などの各駅に停車しながらも途中頑張ったため、郡山には定刻通りに到着した。また J R 東日本仙台支社の列車には東日本大震災の影響を受けて、運転室と乗客用の車内の間を隔てる壁に「津波警報が発表された場合のお願い」と「津波警報時に車外へ出る場合」という紙が貼ってあった。



7 1 9 系 普通 郡山行き (黒磯駅にて)



左「津波警報が発表された場合のお願い」  
右「津波警報時に車外へ出る場合」

郡山 11 : 40 → 11 39 M 東北本線 普通 福島行き → 福島 12 : 28

停車していたのはまた 7 1 9 系 4 両。車内はまた混雑しており、今度も座れなかった。これで宇都宮～福島間ずっと立っていることになる。そして発車メロディーが鳴り、発車。ちなみに郡山駅の発車メロディーは

在来線→扉

新幹線→キセキ

とどちらも郡山ゆかりのアーティスト「GReeeeN」の曲をモチーフにした発車メロディーである。途中、本宮や二本松や金谷川など各駅にとまりながら、郡山を発車し 5 0 分程で福島に到着。この電車は福島到着後、快速仙台シティラビット 5 号仙台行きとなった。私と父親はその隣のホームに停車中の米沢行きに乗り換える。



7 1 9 系 普通 福島行き (郡山駅にて) →



719系快速仙台シティラビット  
5号仙台行き（福島駅にて）



快速仙台シティラビット5号  
仙台行きの案内



## ②標準軌 山形線

福島12:51→441M 山形線(奥羽本線) 普通 米沢行き→米沢13:38

ここから山形まで標準軌(線路幅1435mmのこと。新幹線や京急で使われている。)の電車に乗る。719系2両だった。この福島～米沢間は山越えのため、この区間を走る普通列車は1日6往復しかない。発車メロディーが鳴り、ドアが閉まり発車。ちなみに福島駅の発車メロディーは

在来線→高原列車は行く

新幹線→栄光は君に輝く(甲子園の曲)

というご当地発車メロディーである。

福島を出発し山形新幹線と合流。初めは住宅街を走ってゆくものの、庭坂を過ぎると山に入る。途中の峠にて、峠の力餅を購入。餅とあんこの食感が最高だった。それから20分ほどで米沢に到着。対面乗り換えだった。

米沢13:41→443M 山形線(奥羽本線) 普通 山形行き→山形14:26

本日4回目の719系。しかし、これまでとは違ってワンマン運転である。車内はとても混雑していた。



719系 普通 米沢行き（福島駅にて）



だんだん奥羽山脈を登ってゆく



峠の力餅



峠の力餅の中身

初めは立っていたが、途中の赤湯から座ることができた。そして、ここからかみのやま温泉あたりまで寝ていた。また、途中に茂吉記念館前という駅に停まった。どうやら山形県出身の斎藤茂吉の記念館が近くにあるようだ。そして米沢を発車して50分ほどで山形に到着。新幹線ホームを見ると、自由席の乗車目標に行列をなしていた。

その後撮影をし、おにぎりを買って次の電車に乗り込んだ。次は山越え路線である仙山線に乗車するのだ。



719系 普通 山形行き（山形駅にて）



左沢線 普通 左沢行き(キハ100系)



### ③仙山線と山寺

山形14:56→832M 仙山線 普通 仙台行き→山寺15:14

停車していたのは、E721系4両。発車メロディー(Verde rayo)が鳴り、出発。羽前千歳を出ると山形線と別れて山へ向かう。途中楯山で列車交換をし、15分程で山寺に到着。

ここで降りた理由は、松尾芭蕉とゆかりのある立石寺を観光するためである。頂上の奥ノ院まで1000段余りの階段を登り、その後五大堂を訪れた。そこにいと突然、仙山線の電車が見えた。その写真が以下のものである。その後、ラ・フランスソフトクリームを食べた。やっぱりラ・フランスの香りは最高だった。



E721系 普通 仙台行き(山形駅にて)



立石寺の五大堂から見た山寺駅停車中の仙山線E721系

山寺17:13→834M 仙山線 普通 仙台行き→仙台18:15

やって来たのは、今度もE721系4両。途中愛子まで山中を走り、愛子から町中を走る。1時間ほどで仙台に到着。乗って思ったが、仙山線には面白山高原など奇妙な名前の駅名が多かった。また、後で調べてみたが、仙山線は、駅によって利用者数の差がかなり大きかった。その後、牛タンを食べビジネスホテルへ行きそこで一泊した。



山寺駅



立石寺入口



ラ・フランスソフトクリーム



E721系 普通 仙台行き

(到着後仙台駅で撮影したため行先表示は山形になっている)

8月15日(月)



仙台8：19→5545D 仙石東北ライン 快速 石巻行き→石巻9：20

来ました、仙石東北ライン。仙台～塩釜間は東北本線を走り、塩釜～高城町間で渡り線を走り、高城町～石巻間は仙石線を走る。なお、仙石東北ラインは交流の東北本線と非電化の渡り線と直流の仙石線を走るため、HB-E210系というハイブリッド気動車で運行されている。

そして、発車メロディーが鳴る。ちなみに仙台駅の発車メロディーは今年の7月1日に

**在来線 青葉城恋唄→すずめ踊り**

**新幹線 杜の都→青葉城恋唄**

にそれぞれ変更されている。

仙台を発車。東北本線を快走し、渡り線の手前で運転停車。すぐに動き出し渡り線に入るがまた運転停車。そしてすぐに発車し仙石線に入り高城町に到着。この駅にて仙台行きの仙石東北ラインと行き違いをして発車。しばらく海沿いを走るがその後、内陸を走り野蒜に到着。この内陸区間はもともと海沿いにあった線路が東日本大震災により被災したため、移設したのである。この区間が終わると陸前小野に到着。それから20分ほどで石巻に到着した。仙台から1時間ほどだったが、あっという間であった。この駅で石巻線に乗り換える。ちなみに仙石線ホームでは、「A sea bird」(月～金)と「Sea Green」(土日)という発車メロディーが流れる。



HB-E210系 (仙台駅にて)



側面



車内表示器



ハイブリッド表示





渡り線走行中



野蒜駅停車中



仙石線 205系 陸前小野駅にて



石巻駅

石巻9：33→1629D 石巻線 普通 女川行き→女川9：59

やって来たのはキハ110系。数分停車してからの発車だった。この区間も震災で大きな被害が出た区間である。それにしても海がきれいだ。海景色を存分楽しみながら20分ほどで女川に到着。しかし、列車の発車時刻の都合上滞在時間はたったの**10分**だけだった。そのため駅舎や駅前しか見ることができなかった。また、今年の8月6日から仙台～女川間の仙石東北ラインが1往復設定されている。



キハ110系 女川行きと帰りの小牛田行き  
(女川駅にて)



女川駅の様子

女川10：09→1630D 石巻線 普通 小牛田行き→小牛田11：11

さっきと同じ気動車に乗車。石巻、前谷地など各駅に停まり、1時間ほどで小牛田に到着。ちなみに前谷地～気仙沼間で気仙沼線が走っているが、震災の影響で前谷地～柳津間は気動車とBRT、柳津～気仙沼間はBRTと、今なお仮復旧の状態である。次の電車まで30分ほどあったので改札外に出た。



小牛田駅の留置線に風っこ（\*）が止まって→いた。



海がきれい→

（\*）観光車両ジョイフルトレインびゅうコースター風っこのこと



小牛田 11:40 → 2542M 東北本線 普通 仙台行き → 松島 12:00

停車していたのはE721系4両。一ノ関からの電車の乗り換え客が多かったため、座ることはできたが車内は混雑していた。20分ほどで松島に到着した。ここから松島の中心地まで1キロ強歩いた。その後松島海岸を観光し穴子丼を食べ松島海岸駅へと向かった。

松島海岸 13:44 → 1332S 仙石線 普通 あおば通り行き → 仙台 14:21

やって来たのは205系M1編成4両。ひとつ前の高城町始発だったため車内は比較的

すいていた。しかし、私は前面展望を見なかったのですずっと立っていた。仙台に近づくにつれて車内は混雑していった。やっぱり仙石線205系は最高。松島海岸を出てしばらくは海の近くを快走し東塩釜の手前で単線から複線になる。途中、多賀城や大師線の小島新田と名前が似ている小鶴新田などに停まり、苦竹を過ぎると地下に入った。松島海岸から40分ほどで仙台に到着。仙台でお土産を買い、次の電車に乗り込む。



E721系 普通 仙台行き



県立自然公園松島



福浦島



205系 普通 あおば行き



⑥帰路へ

仙台15:02→586M 東北本線 普通 福島行き→福島16:23

停車していたのはE721系4両。車内は比較的混雑していた。どうやら、仙台～福島間を普通列車で乗り通すひとが多いらしい。1時間20分ほどで福島に到着。



E721系 普通 福島行き (福島駅にて) →

福島16:28→2148M 東北本線 普通 黒磯行き→黒磯18:31

停車していたのは、719系4両。この旅行で5回目。結局この旅行で701系に乗ることはできなかった。車内は混雑しているものも座ることができた。途中郡山で13分停車した。また、黒磯到着直前でカシオペアの団体臨時とすれ違った。2時間ほどで黒磯に到着。



719系 普通 黒磯行き (福島駅にて) →

黒磯18:38→674M 東北本線 普通 宇都宮行き→宇都宮19:28

停車していたのは、205系メルヘン顔湘南色の4両編成だった。行きと同様、黒磯ダッシュがあったが階段から一番遠い一番後ろの車両の座席をゲット。それから50分ほどで宇都宮に到着した。この駅で名物の餃子をいただきました。



205系 普通 宇都宮行 (黒磯駅にて) →



205系とE233系 (宇都宮駅にて)



餃子いただきました

宇都宮 20:36 → 3558M 東北本線 通勤快速 上野行き → 尾久 22:03

停車していたのは、E231系10両編成だった。通勤快速はとても速い。なぜなら久喜～大宮間ノンストップだから。上野だと階段乗り換えになるのでその一つ手前の尾久で降りた。そして次の上野東京ラインを待った。



E231系 通勤快速 上野行き → (宇都宮駅にて)

尾久 22:09 → 1635M 上野東京ライン 普通 沼津行き → 川崎 22:40

やって来たのはまたもやE231系。今度は15両で後ろ5両は途中の平塚。私と父親は12号車に乗車。本来ならこの電車は激混みなのだが、この日はお盆のため空いていた。30分ほどで川崎に到着。ここから京急川崎駅まで歩く。

京急川崎 22:53 → 2280X 京急大師線 普通 小島新田行き → 東門前 23:00

1521編成だった。7分で東門前に到着。家に帰り、お風呂に入った後、すぐに寝た。



最後まで読んでいただきありがとうございました。

#### 参考文献

Wikipedia <https://ja.wikipedia.org>

J R時刻表 4月号